

福祉教育と共同募金

和歌山県の有田川町共同募金委員会では、共同募金を活用して、若い世代によるコミュニティ参加を啓発しています。“教える”“教わる”という関係性ではなく、じぶんの町をつくりあげていく「仲間」として、一緒に活動できる場づくりを行っています。様々な取り組みは、HPでも公開しています。



「赤い羽根ポスターコンクール」 和歌山県有田川町共同募金委員会

高校生による応募作品の審査

2018年度から町内の小学校にチラシを配り、「赤い羽根ポスターコンクール」への応募を呼び掛けています。2023年度は夏休みの絵画の課題として提出された作品や自ら応募された作品を含め、32点の応募がありました。

はじめは応募作品の審査を事務局のみで行っていましたが「地域の若者と協力できる機会を作りたい」という事務局の思いを形にして、2022年度からは有田中央高校の美術部の皆さんにも審査に参加してもらうようになりました。入賞作品が社協の広報誌「社協有田川」10月号の表紙になるほか、全応募作品は町内の公共施設に展示されます。



みんながつながる 赤い羽根エコキャップアート

有田川社協では、誰でも気軽にボランティアができる「ちょいボラ」としてペットボトルのキャップを収集しています。ポスター作品の展示期間中、作品を見に訪れた住民の方が下書きされたデザインの上にキャップを置くことによって赤い羽根エコキャップアートが完成します。

デザインやメッセージは共同募金担当者の川嶋さんが考案していますが、今後は有田中央高校美術部の皆さんのアイデアを借りながら作っていきたくと語ります。



イベントへの協働出展

赤い羽根ポスターコンクールをきっかけにつながった有田中央高校美術部の皆さんと協働で、町内で開催されるイベント「ありがたわ楽市」に共同募金委員会のブースを出展しました。赤い羽根バルーン等の募金啓発グッズへのご寄付や、オリジナルバッグ制作体験を通して、普段は接点の少ない若者と住民の方々の交流が生まれる機会になっています。

